



館山創生プロジェクトチーム「あすプロ」のメンバー

# 「恋人の聖地」活用へ

地方創生チーム「あすプロ」発足

## 独自の婚姻届も

### 館山市

館山市は若手職員による館山創生プロジェクトチーム「あすプロ」を発足した。25〜41歳の職員が部署横断的に集まり、「恋人の聖地」の活用をテーマに企画を立案、実践。洲崎灯台をはじめとする聖地スポットを巡るカップル向けメニューへの特典を与えるキャンペーンやオリジナル婚姻届を作成した。

同チームは若い職員のアイデアを地方創生に生かそうと、市役所内で公募。観光経済部や建設環境部、市立博物館といった部署から、県外出身者や民間企業勤務経験者など多彩な人材8人が集まった。名称は「あしたをすてきにプロデュース」を略したものから付いた。

金丸謙一市長から与えられたテーマは、昨年7月にNPO法人地域活性化支

援センターから認定を受けた「恋人の聖地」の活用。観光協会や関係団体と連携し、新たな観光資源としての展開を進めている。キャンペーンでは、市内のロマンチックなスポットとされる洲崎灯台と城山公園、館山夕日栈橋の3カ所に「恋人の聖地」公式プレートを設置。近くにあるQRコードをスマートフォンで読み取り、位置情報を取

得すれば、スタンプがもらえる。スポット近くの飲食店でスタンプを見せれば、3月末まで、ハート型のみそ田楽「田楽ハート」や食用バラでハートをデザインした「幸福のペアだんご」

といった特別メニューが50円引きとなる。オリジナル婚姻届はメンバーの女性職員が作成したもので、3カ所のスポットと色とりどりの花をあしらったデザイン。窓口に提出すれば、記念写真を撮り、写真と台紙を合わせてプレゼントする。

同チームは協力店舗の拡大や聖地での婚活イベントなど新たな企画も検討する。リーダーで都市計画課の後藤淳主任技師(41)は「部署横断で横のつながりが無いとできないような企画をスピード感出して進め

ていきたい」と話している。現メンバーの任期は3月まで。第2期、第3期のメンバーも募集し、新たなテーマに取り組んでいく。



恋人の聖地を巡ると特典が得られるカップル向けメニュー「田楽ハート」